



事業成果報告書

一般社団法人出雲青年会議所

2024 年 12 月

主催者挨拶

一般社団法人出雲青年会議所
第 68 代理事長 江角 彰則



平素より私たち一般社団法人出雲青年会議所の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私ども出雲青年会議所は、25 歳から 40 歳までの青年経済人の集まりであり、出雲の明るい豊かな社会の実現を目指し活動を展開しております。

本年度の出雲青年会議所は、スローガンに「日々是前進」、基本理念として「～委ねられし次代を希望が切り拓く～」を掲げ、互譲互助の想いで溢れる地域を実現するため活動を行っております。その一環として、イノベーションを興し次代を切り拓ける青少年健全育成事業として、次代を担う出雲市内の高校 1 年生から 3 年生を対象に、青少年事業「Study Tour in 韓国～未来を切り拓く発見の旅～」を開催し、夢や目標を持つことの重要性や、海外に赴き日本とは異なる環境や文化交流や体験を通じて、新たな価値観を養い、視野を広げ、より良い社会を実現するために自身にできることを考え、提案する機会を創出いたしました。

まずは、6 月 30 日に開催したプログラムⅠ「事前研修会」を皮切りに、約 2 カ月間に亘る事業が始まりました。そして、プログラムⅡ「韓国研修」では、韓国国内を中心にデジタルで台頭する IT 企業への訪問や、現地の高校生と交流し文化や考え方の違いに直接触れ、自国と比較する中で新たな発見をし、国境を越えた友情を築いていただくことができました。さらに、プログラムⅢ「報告会」においては、事前研修会や海外研修での学びやエピソード、将来の具体的な夢や目標を自らの言葉でしっかりと話す姿から全員が目覚ましい成長を遂げてくれたと実感しております。海外で得られる経験は、高校生たちにとって新たな視点を与えるだけでなく、自らの考えを深め、価値観の差を柔軟に受け入れ、そこから新たなアイデアを創出する意識を身に付けていただく貴重な機会になったと考えております。

本報告書は、プログラムⅠ「事前研修会」、プログラムⅡ「韓国研修」、プログラムⅢ「成果報告会」の様子、本事業全体のアンケート結果をまとめさせていただきました。高校生たちの成長の様子から次代を担う若者の活躍を支援する輪が拡充することや、更に地域全体の活性化や国際交流の促進にも繋がれば幸いです。

最後になりますが、本事業の実施にあたって多くの皆様の多大なご支援ご協力を賜りました。また、クラウドファンディングを実施させていただき、多くの皆様に温かいご支援を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。そして、事業の準備や運営に携わっていただいた株式会社マジカルクリエイトサービスの皆様、韓国研修で現地の協力を惜しみなく提供してくださった皆様、そして高校生たちを支えてくださったご家族の皆様に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

事業計画の概要

1. 本事業について

【開催概要】

青少年事業「Study Tour in 韓国 ～未来を切り拓く発見の旅～」は、変化の激しい中でも成長する国・企業から発展の秘訣を学び、成長への挑戦を目指す夢を育む、人財育成を期待する事業です。

【事業の目的】

- ・変化の激しい中でも成長する秘訣を学ぶこと
- ・得た学びをまとめ、人前で発表することで、学びをさらに深めること

2. 事業のスケジュール

内容	日程	開催場所
高校生の募集期間	4月20日(土)～5月17日(金)	—
保護者説明会	6月20日(木)18:00～19:00	JC センター会議室
プログラムⅠ 事前研修会	6月30日(日)16:00～17:45	JC センター図書館
プログラムⅡ 韓国研修	7月28日(日)～31日(水)	韓国ソウル市内ほか
プログラムⅢ 成果報告会	8月21日(水)18:00～20:00	ビッグハート出雲 茶のスタジオ

3. 研修先(韓国)の設定理由

◆日本と韓国の比較

国の生産性を表す指標と言われる「1人当たり名目 GDP」を見ると、日本の順位は2000年の世界2位から2022年に21位まで落ち込みました。また、「経済成長率」を見ると、日本が1.4%、韓国が2.1%です。今後近いうちに韓国にも追い抜かれることがほぼ確実だと言われています。

(参考：米国 1.0%、ユーロ圏 1.5% ※出典は内閣府資料、OCED 資料による)

◆韓国の強み「強いデジタル分野」

韓国は、デジタル・IT 領域で国際競争力を高めており、AI や IoT などの先端技術を活用した製品やサービス開発や投資を積極的に行っています。「世界のデジタル競争力ランキング」では、日本(世界 32 位)は年々順位が下がっていますが、韓国(世界 6 位)は年々順位が上がっています。

◆仕事の早さとリスクの捉え方

韓国の方は、仕事に対するスピード感が早いです。「まずやってみる」という考え方が強く、まずはリスクを受け入れ、問題があれば修正をします。この考え方が韓国の経済成長を支えているといわれます。

4. 各プログラムの流れ

◆参加する皆さまに期待すること（事業の主旨）

本事業は成長するための挑戦と変化の大切さを学ぶこと、異国の同世代との交流により視野を広げること、並びに、地域の発展の方法と自らの将来像を考えることで、次代を切り拓く人財となる自覚を持つことを主旨として実施しました。

◆プログラムの流れ

プログラムⅠ：事前勉強会

概要：韓国研修での学びを高める準備をする

目的：韓国研修での注意事項の共有、並びに学習意欲の向上

- (1) 渡航時の注意事項を確認する
- (2) 研修の学びを深める準備(意欲向上、目的の鮮明化)をする
- (3) 参加理由や、本事業への期待を参加者同士で共有し、一体感を醸成する

プログラムⅡ：韓国研修

概要：韓国の人々から韓国の価値観を学ぶ

目的：韓国の成長を支える価値観を学び、目標・夢を膨らませる

- (1) ・韓国の成長の理由を世界シェアトップクラス企業の開発戦略から学ぶ
・韓国の「まずやってみる」考え方を学び、何事にも挑戦する意欲を高める
- (2) ・先進技術の実装された社会を、VR・遠隔操作システムなどで学ぶ
・高度技術による未来社会の姿を学び、大人になっての目標や夢を膨らませる
- (3) ・現地高校生と交流し、韓国の同世代が抱く関心や将来目標などを学ぶ
・海外の同世代を知り、大人になっての目標や夢を膨らませ、異なる価値観の世界と交流する意欲を高める

プログラムⅢ：成果報告会

概要：韓国研修での学びを深め、発信する

目的：韓国研修での学び・将来目標などを発信し、韓国研修の学びをさらに深める

- (1) 研修の学びと今後の目標を、人前での発表や参加者同士の対話で強固にする
- (2) 事前に発表内容をまとめ、韓国研修の気づきなどの学びの整理ができる
- (3) 出雲・地域をよりよくする思い、未来を切り拓く人財となる志を固められる

事業に参加した高校生

5. 参加者の募集と選考

本事業に相応しい意欲ある生徒が参加できるように、募集時に、以下のテーマの自由作文の提出を求め、作文内容を審査して参加者を選出しました。

◆課題作文について

【文 字 数】400 文字以上

【作文のテーマ】

- ①あなたの将来の夢や目標は何ですか？
- ②今回なぜ韓国に行きたいですか？
- ③韓国で何を得たいですか？
- ④韓国で得た学びを、どうやって出雲に還元したいですか？

◆応募状況

【応募数】9 名

【応募者の内訳】

- ・学校別：出雲高校 3 名、出雲商業高校 2 名、出雲西高校 1 名、大社高校 2 名、平田高校 1 名
- ・学年別：3 年生：4 名、2 年生：3 名、1 年生：2 名

6. プログラムに参加した高校生の皆さん

氏名(敬称略)	よみ	所属(学校)	学年
三代 実祐	みしろ みゆ	出雲商業高校	3 年
内藤 心美	ないとう ここみ	大社高校	3 年
河野 芽衣	こうの めい	出雲高校	3 年
打田 理菜	うちだ りな	出雲高校	2 年
山根 翔和	やまね とわ	平田高校	1 年



参加した高校生の皆さん

事業の実施報告

7. プログラムⅠ 事前研修会

【日 時】 2024 年 6 月 30 日(日) 15:45 受付開始 16:00 開始 17:45 終了

【場 所】 JC センター図書館

【参加者】 高校生 5 名 (※保護者の方のご見学あり)

出雲青年会議所メンバー

[WEB 参加] コーディネーター ((株)マジカルクリエイトサービス 岩城氏)

【内 容】 本事業に参加する高校生の最大の学びの場となる韓国研修の前に、韓国という国や訪問先などを座学で学ぶほか、青年会議所メンバーを交えたディスカッション形式で、本事業への参加理由や意気込み、事業後の目標を意見交換し、最後に全体の前で意気込みを話してもらいます。



江角理事長からの挨拶



岩城コーディネータからの韓国研修の説明



高校生と出雲青年会議所メンバーでの意見交換



参加する高校生から意気込みの発表



参加者一同での集合写真

8. プログラムⅡ 韓国研修

【日 時】2024 年 7 月 28 日(日)～7 月 31 日(水)

【場 所】韓国ソウル市内ほか

【参加者】高校生 5 名

出雲青年会議所メンバー 8 名

コーディネーター ((株)マジカルクリエイトサービス 岩城氏、伊藤氏、キム氏)

【内 容】

◆失敗を恐れずスピード感を持って挑戦する韓国を学ぶ

韓国の「まずやってみる」考え方を、実際に韓国の方々とコミュニケーションにより学びます。韓国トップクラスの業績を持つ企業から直接成長できた考え方を伺い、日本以上に成熟しているデジタル技術から得られる将来の姿を体験して学びます。また、現地の高校生と交流会を行い、同世代の生徒同士で参加する高校生に刺激のある機会を設けます。

また、韓国の現地の雰囲気にも馴染むためのアイスブレイクとして、ソウル市内の有名な史跡にも訪問します。

◆各訪問先の内容・学べること：

(1) 企業訪問① サムスン

スマホ世界シェア No1 企業で学ぶ 選ばれるチカラ

世界最大規模で電子製品・部品・総合家電を扱うメーカー。人口が伸びるアジア・アフリカの中進国・途上国をターゲットにした商品開発を行い、スマートフォン、薄型テレビ・半導体・中型有機 EL ディスプレイでいずれも世界一のシェアを誇ります。

研修ではサムスンの「イノベーションミュージアム」を訪問し、世界トップシェアを取るまでに商品開発で重きを置いてきた変化の歴史などを学びました。

→ サムスンは、人口減少で需要が伸びない韓国国内ではなく、外需の取り込みを目標とする営業戦略で業績を伸ばしてきた。日本や出雲で人口減少が進む中で、国の外を狙ってニーズを捉えて戦略を講じる点は、非常に参考にするべき点だと考えます。また、韓国の「まずはやってみる」という挑戦・変化を恐れない文化も実例をもって学ぶことができるため、視察先に選定しました。

(2) 歴史文化財 景福宮(キョンボックン)

韓国を知るには行かなければならない場所

白岳山(今の北岳山)を主山とする広い地形に建物が配置され、正門である光化門の前に広々とした六曹街が広がる、当時から国の中心地であった。「景福」には「新しい王朝が大きな福を授かり繁栄する」という意味が込められており、中世にはここで創製した訓民正音(ハングル文字)が作り出され韓国の公用語として考え出された場所である。

→ 韓国が今に至るまでの歴史を感じる場所である。韓国の歴史を知ることによって韓国人の背景と、勤勉だった王朝から現代にわたりどのような影響を与えてきたのかを知る場所であり、現地韓国人のガイドさんから、日本語でこの歴史文化の一つ一つを教えてください。



(左上写真) サムスン見学の様子①

ミュージアムでは、サムスンの商品である電子製品や総合家電に関する、電気の発見から電気の利活用の歴史を紹介してあった。電気系の専門知識のない高校生でも分かりやすい展示となっていた。



(右上写真) サムスン見学の様子②

サムスン職員の方に日本語で説明いただきました。高校生からの質疑にも通訳なしでご対応いただいたほか、ご自身の語学学習の体験などもお話いただけ、高校生たちも将来を考える場面もありました。



(下写真) サムスン見学の様子③

サムスンの商品開発の歴史から、現在の商品開発で大切にしている世界中の人々の生活の質を改善する視点の改正をいただき、今の主要な商品も拝見しました。日々の生活の中で欲しい機能を追求しているのを高校生や大人たちも実感でき、ユーザー目線で求められる変化を起こしていく大切を体感できました。



(左写真) 景福門の解説

韓国の歴史や、生活様式を日本語で分かりやすく説明いただきました。



(右写真) 景福門での集合写真

高校生たちは韓国の民族衣装に着替えて見学し、韓国訪問の記念にもなりました

(3) 企業訪問② SK テレコム

通信会社から魅せるリアルな近未来社会

韓国国内で約 50%の市場シェアを持つモバイル通信企業。AI、自動運転などの技術開発も世界レベルで ICT 分野の世界アワード「グローバルテレコムアワード」を 7 年連続受賞しているなど高い評価を得ています。

研修では、同社の ICT 体験センターを訪問し近未来の高度な通信技術により実現される社会を、VR 技術や遠隔操作システムを用いた全身で体感する体験型プログラムに参加します。

→ 体験プログラムは、VR をはじめ、身体動作をリアルタイムに同期させて動く遠隔操作システムなど、高速通信の技術を最大限活用した体験と、それらの高度な通信インフラにより実現される未来の世界を体感できるプログラムでした。

→ 本体験プログラムの写真撮影は禁止されているため、イメージと文章を掲載します。

【体験プログラムの概要】

- ・ 人類が住めなくなった未来の地球を舞台にした体験プログラム
- ・ 遠隔操作ロボットを使った救助、自動操縦の空飛ぶ車、AI を活用した瞬時の意思決定などが体験できる
- ・ 社会で起きる課題・ニーズに対して、SK テレコムの「通信」という自社の技術を活かして提供できるサービスを進化・深掘りさせる姿勢を示す企業理念があった。



体験センター内部のイメージ
(出典：SK テレコム公式 HP)

(4) 韓国高等学校訪問 白岩(ハクサン)高校

韓国の学校と現地の高校生との交流

韓国は、日本以上に大学受験が厳しい環境にあり、とても学習意欲が強く学ぶ環境が整備されています。韓国の同世代の若者と交流することで、自身の視野を広げます。

→ 今回は、現地で日本語コースのある高校を訪問し、高校生同士での対話・意見交換をはじめ、韓国の伝統文化などを共に体験し、交流を行いました。高校生同士のコミュニケーションは、通訳の手伝い以外にも、スマートフォンの通訳アプリを利用した交流も行いました。

また、「サムルノリ」という伝統芸能と一緒に観覧、ならびに実際に演武を教えていただき実演する体験を行いました。



韓国の高校生との交流会

(左写真) 冒頭の自己紹介の後の様子。出雲から参加した高校生たちは緊張した様子でしたが、韓国の高校生の皆さんから積極的に話しかけていただき、すぐに打ち解けた様子でした。

(右写真) スマートフォンの翻訳アプリを使って会話を交わしました。高校生たちは、自分のスマートフォンに伝えたいことを話しかけ、音声で認識したアプリが翻訳した文章を表示させてコミュニケーションを取っていました。



伝統文化の体験会の様子 ((左写真) サルムノリ、(右写真) 扇子の舞踊)

白岩(ハクサン)高校の方々の企画により、伝統的な打楽器の「サルムノリ」と扇子を用いた舞踊をグループに分かれて一緒に実演しました。ともに一つの演目を完成させることで一体感を強めることができました。



交流会の様子

日韓の学校生活の差や、私生活の様子など高校生らしい質問が飛び交いました。



交流会後の集合写真

数時間の交流会でしたが、最後は昔からの友達のように仲良くなり別れを惜しんでいました

【プログラムⅡ 韓国研修のタイムスケジュール】

発着・滞在地	時間	交通機関	内容	食事
◆7月28日(日) 1日目				
	10:30		出雲空港に集合、チェックイン	
出雲空港 発	11:35	JAL280		
羽田空港第1ターミナル 着	13:00	連絡バス	第3ターミナルへ移動	
羽田空港第3ターミナル 着	13:40		チェックイン	
羽田空港 発	15:40	JAL93		機内軽食
ソウル(金浦)空港 着	18:00	専用バス	金浦空港からホテルへ移動	
			ホテル着	
			ホテルチェックイン、夕食、就寝	夕食
◆7月29日(月) 2日目				
ソウル市			ホテルにて朝食	朝食
	10:00	専用バス	集合、ホテルから昼食会場へ移動	
	11:45		昼食	昼食
	12:40		SAMSUNG イノベーションミュージアムへ移動	
	13:00		企業視察① SAMSUNG イノベーションミュージアム見学	
	14:30	専用バス	SAMSUNG から景福宮へ移動	
	16:00		歴史文化財見学 景福宮	
	17:30		景福宮見学終了	
			夕食・市内散策	夕食
	20:00	地下鉄	地下鉄に乗ってホテルへ移動(地下鉄乗車体験)	
	21:30		ミニワーク(1日の振り返り)、翌日の案内、就寝	
◆7月30日(火) 3日目				
ソウル市			ホテルにて朝食	朝食
	9:00	専用バス	集合、出発	
	10:30		企業視察② SK テレコム	
	11:30		見学終了	
	11:45	専用バス	バス移動(車内で昼食)	昼食
	13:30		韓国白岩高等学校訪問 挨拶及び懇談会(高校生含む)	
	14:00		韓国伝統文化の習い(サムルノリ、舞踊)	
	16:00		韓国伝統芸術公演観覧	
	16:45		韓国の高校生と懇談会 (スマホ翻訳アプリを使って交流)	
	17:20		記念撮影	
	17:30		お土産の交換	
	18:00	専用バス	学校から移動、その後夕食	夕食
	20:00	専用バス	ホテルへ移動	
	21:30		ミニワーク(1日の振り返り) 翌日の案内、就寝	
◆7月31日(水) 4日目				
			ホテルにて朝食	朝食
	9:00	専用バス	チェックアウト後、ホテルを出発	
ソウル(金浦)空港 着	10:00		JAL チェックイン	
ソウル(金浦)空港 発	12:05	JAL92		機内食(軽食)
羽田空港第3ターミナル 着	14:15	連絡バス	第1ターミナルへ連絡バスにて移動	
羽田空港第1ターミナル 着	15:40		チェックイン	
羽田空港第1ターミナル 発	17:15	JAL287		
出雲空港 着	18:40		終礼、解散	

9. プログラムⅢ 成果報告会

【日 時】2024 年 8 月 21 日(水) 17:30 受付開始 18:00 開始 20:00 終了

【場 所】ビッグハート出雲 茶のスタジオ

【参加者】高校生 5 名、出雲青年会議所メンバー

事業ご協力者（出雲市役所の方、学校関係者・保護者の方など）

【内 容】

◆韓国研修の学びを出雲市民へ共有する場

韓国研修で高校生が得てきた学びを、ご協力いただいた方々へ高校生自ら説明します。個人発表では、現地での学びのほか、出雲市民へのメッセージとして、変化することの必要性や、出雲の不足点、そして自身の将来目標などを述べました。そして、その後パネルディスカッション形式で、研修で得られた学びを深堀りします。

→ 報告会では、一人ひとりがこの事業で得た経験を振り返り、その成果を発表しました。その中には、日韓の共通点や違いを学んだエピソード、異文化理解が進んだ瞬間、そして将来に向けた自分自身の目標が語られました。さらに、パネルディスカッションでは、岩城コーディネーターにも聴講した方にも韓国の事情が分かる説明を得ながらご参加いただき、互いの学びを共有し合い、新たな視点を得る場となりました。大人にとっても、若い世代の成長を目の当たりにし、未来への期待が膨らむ時間でした。



高校生たちの発表の様子

各自 10 ページ程度のパワーポイントを自分で作成して発表を行いました。
成果報告会に欠席した方も、事前に映像を撮影して発表をしていただきました（右写真）。



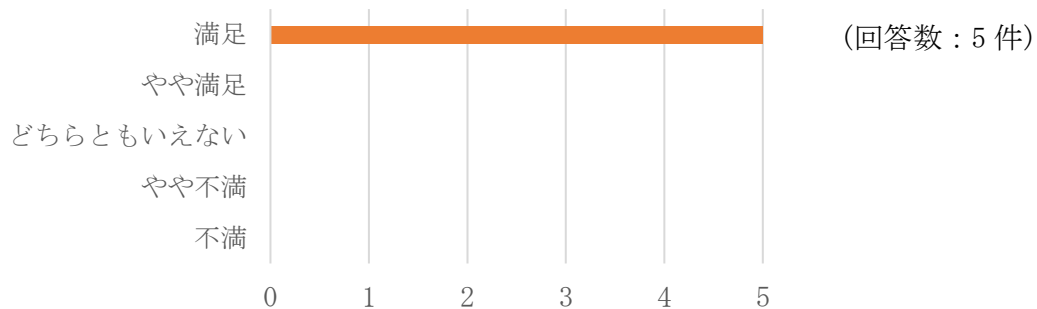
パネルディスカッションの様子

岩城コーディネーターと出雲青年会議所の委員長、高校生によるパネルディスカッションを行いました。高校生からは企業見学を通じて得られた、世界を見る視野の広さや、社会の動きに合わせて自ら変化する姿勢の大切さをはじめ、
現地の高校生から感じた積極的に交流する姿勢や、
帰国後も SNS で連絡をとっている様子などを話し合いました。

事業の実施効果

10. 聴講者アンケート結果（プログラムⅢ 成果報告会後のアンケート）

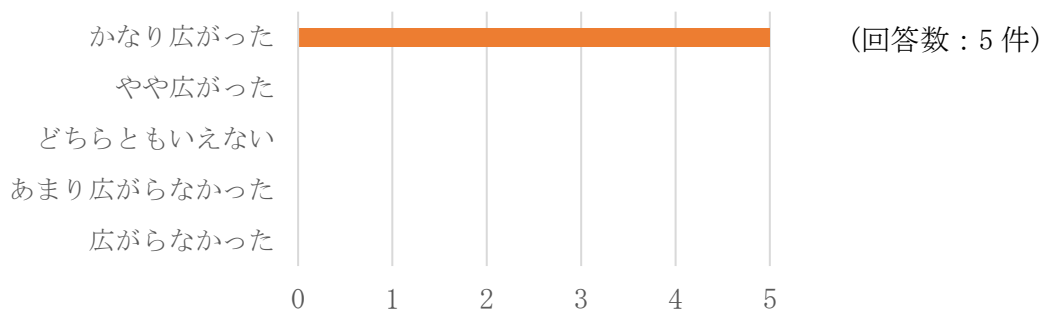
◆問① 本日の成果報告会について総合的にどのくらい満足していますか。



【回答理由】

- 我が子がたくさんの方々の前で発表する姿が見られたから。
- 子供達一人一人の発表が素晴らしかった。
- 研修の成果が実感できる内容でした。
- 研修に参加し、成長した姿や将来への熱意を感じる事が出来ました。
- 子供達が学んでどう思ったのか、みんなの意見が聞けて、自分では考えなかった事とを考えていた事が素晴らしいと思った。

◆問② 高校生の発表から韓国の事例を聞き、ご自身の視野も広がりましたか。



【回答理由】

- 自分が知らなかった韓国の文化や企業についてのことを知られた。
- 小さな町から大きな未来が見えた気がします。
- 実際に現地に行って自分自身で見ることにより、理解できる多くの事があると感じました。
- 韓国の知らない部分が知れた。

◆問③ 本日の成果報告会を聞き、ご自身の身の回りで「変化」が必要なことはありますか？
また、その変化をご自身で「やってみよう」と思えますか？

【回答内容】

- 無理なことや難しいことに対してすぐに反対するのではなく、前向きに考えてできる限り理解や協力をしてあげたい。
- まずやってみる、ほったらかしてる仕事に前向きに向き合えるようになりました。
- 共通語である英語を積極的に学ぶ。
- 歳を重ねてくると、質問する事や失敗する事を恥ずかしく思っ、なかなか行動に移せなかったりするので、もっと自分で挑戦したりしようと思った。

◆問④ 高校生などの青少年が、地域で行動を起こすとしたら、あなた自身ができそうなことはありますか？

【回答内容】

- できる限りその行動について詳しく聞き、理解し、協力したい。
- 何らかのサポート
- ホームステイ受け入れ
- 具体的には分からないけど、自分が出来る事があれば協力したい。
- 検討中です

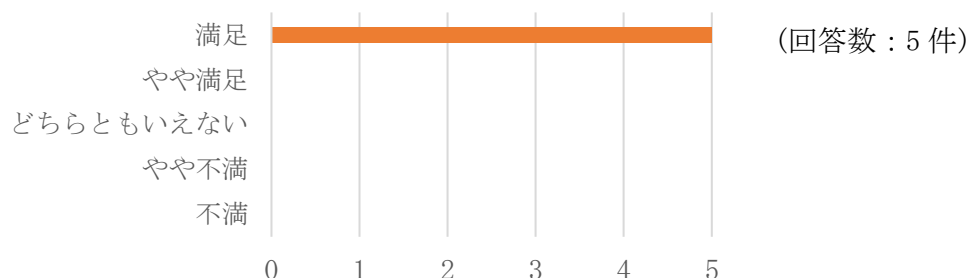
◆問⑤ その他、ご意見・ご要望、改善点があれば、ご自由にお書きください。

【回答内容】

- 可能であればこの事業は続けていってほしい。
- 素晴らしい研修に参加することができ、子供達にとって、とても良い経験になったと思います。ありがとうございました。
- 今回、この様な企画に参加できた事、本当に良かったと思います。今まで何かに進んで参加する事が少なく、初めてこのような企画に自分から参加したいと言って来ました。そして、まさかの参加出来る事に親として心配もありました。でも、参加する事で本人も成長出来て、自分からこうしたいと言って来るようにもなりました。素晴らしい企画に感謝しかありません。また、他校の生徒さんとも交流出来たことも、良かったです。この度は本当にお世話になりました。ありがとうございました。

1.1. 高校生アンケート結果

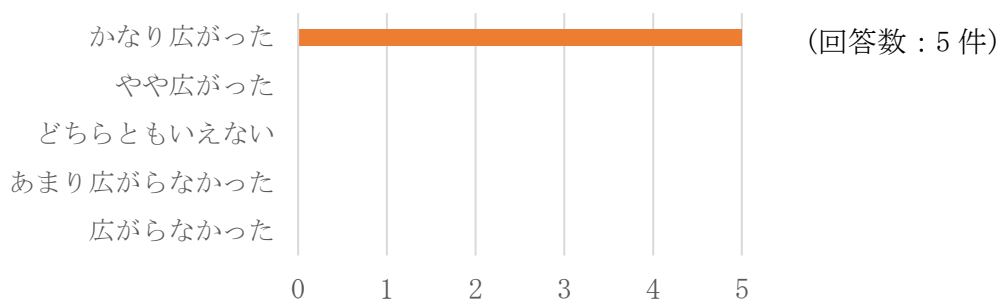
◆問① 今回の事業全体（事前勉強会から成果報告会まで）について総合的にどのくらい満足していますか。



【回答理由】

- いろんな体験ができたしもっと出雲や韓国のことについて知りたくなったから。
- 韓国に行ってとても色々なことを学べていい研修だったから。
- 韓国の文化や IT 技術の体験を通して自分の視野を広げることができたから。
- 自分がもし海外に行くとしても体験することが出来ないことを多く行えたから。
- 事前勉強会では企業見学をさせていただく企業さんの事をしっかり知ることが出来たし、実際に韓国に行ってみて企業の強みを生かしたビジョンを持っているとわかったし、それがどのような事なのかを体験しながら学べてとても楽しかったからです。また、学生さん達との交流では3時間ぐらいの短い時間だったけど今でも連絡を取り合うようなお友達が出来てとても嬉しかったからです。韓服を来て景福宮を見て回ったのもとても貴重な体験だったからです。

◆問② 韓国の企業の方や高校生の方々と交流し、自分の視野が広がりましたか。



【回答理由】

- 企業見学や高校生との交流で自分のやりたいことをやってみようと思えたから。
- 韓国の高校生と仲良くなったことで韓国が身近なものに感じられるようになったから。
- 日本と韓国の似ている点や異なる点を知ることができたから。
- 今までほとんど日本人の人と関わってきても海外の人とは関わる機会があまり無かったけど、今回の研修を通して、韓国の高校生と交流したことで海外の人と関わり繋がりを作る楽しさを知ることが出来たから。
- 違う言語の人と関わるのが初めてで大きなアクションやとても明るい雰囲気日本で感じられない雰囲気だったのでこんな人たちがいるということがわかってお互い理解し合うことが大切だとわかったからです。

◆問③ 今回の事業全体を通じて、自分の目標や夢の実現に何が必要だと思いましたか？

【回答内容】

- 挑戦すること
- この研修を自分の進路にどう繋げていくかを考えることが必要だと思った。
- 外国語運用能力、何にでも挑戦する姿勢
- 大学で留学をしてもっと多くの人と関わって今まで気づかなかった自分の強みや長所を見つけること！
- 様々な人々がいるととても実感したので看護師という仕事はたくさんの人と関わる仕事なので理解していくことが必要だと思ったし、しっかり目標を持って行動して行くことが必要だととても感じました。

◆問④ 今後、社会のために自分でできることは何でしょうか？また、その達成には何が必要でしょうか？

【回答内容】

- いろんな国籍の人と関わりを持つ。沢山のひとと話したりいろんなイベントに参加する。
- 海外に行ったことがない人が海外を知れるように、伝えていくこと。
- 韓国と日本の交流を活性化させること。
- 韓国で出会った人達との交流を続ける、韓国の文化を学ぶ。
- 日本についても相手に伝えられるようになる。
- もっと多くの学生にこのような研修を行ってもらいたい。そのために、身の回りの人から多くの人に自分が今回の研修で学んだことや変わったことなどを伝えていきたい。
- 今回の研修で感じたことを発信していった関係が良くなっていくきっかけを作り、良くなっていくことができると思います。簡単な事では無いので色々試行錯誤しながら失敗しても諦めず挑戦していく事が必要だと思います。

◆問⑤ 私たち出雲青年会議所は、今回の事業のほかにも、まちづくりを始め様々な事業を行っています。青年会議所に期待したいことはありますか？（任意回答）

• 【回答内容】

- 出雲市以外の人との交流の場
- 今回のような研修は学生にとってとても大事な貴重な体験になって考えが変わるきっかけにもなると思うので続けていって欲しいです。

◆問⑥ その他、ご意見・ご要望、改善点があれば、ご自由にお書きください。

【回答内容】

- 本当に研修に参加できて良かったです。ありがとうございました。
- 今回はとても貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。着いてくださった青年会議所の皆さんや岩城さんや伊藤さん、金さんのおかげで楽しく研修が出来ました。また、クラウドファンディングをしてくださった方々にとっても感謝しています。

1 2. 事業の目的達成度とその効果

参加した高校生は、韓国での研修を通じて行動を起こすことや試行錯誤して挑戦する大切さを学びました。特に韓国の高校生との間で互いを理解した経験を得て国際的な視野を広げられました。また、自らの夢を膨らませ挑戦する心構えを持て、主体的に未来を切り拓いていくことが期待できます。

プログラムⅢで高校生の発表を聴講された方も、身の回りのことに前向きに向き合い、挑戦や積極的に関わる意欲を高めており、変化を主体的に起こすことが期待されます。また、高校生の成長や将来への熱意を感じ、青少年世代への期待を膨らますことができ、今後も意欲ある青少年をサポートする行動を取っていただけることが期待できます。

高校生をプログラムⅠから見守ってきた青年会議所メンバーも、研修を通じて考え方や行動が積極的で前向きになり、将来への明るい夢を持っていることに感銘を感じる等、成長と変化を深く受け止めており、高校生たちや出雲の未来への期待を高めることができました。また、韓国が日本よりも失敗を恐れずスピード感を持ち、「まずやってみる」考え方で行動し成長していることを理解し、自らも変化を起こす自覚を持つことができました。今後、次代を担う青少年が期待を持てる社会を作る人財となることが期待できます。

1 3. 事業の効果検証

- ・ 出雲市内の高校生を対象として海外研修事業を行いました。高校生は将来の進路を選択前の年代であり、渡航先でのリスクも理解して規律を守れる年代であったため、意欲高く学ぶ姿勢と安全な渡航を両立して実施ができる年代設定でした。
- ・ 今回の参加する高校生の選出にあたっては、自由作文の提出を求める形での公募を行ったところ、5名の枠に対し9名の応募がありました。提出された作文は担当委員会メンバーで採点して、学習意欲の高い高校生を選抜することができ、本事業の効果を高めることができました。
- ・ 韓国での研修では、韓国の世界的競争力のある企業を直接訪問したり、コーディネーターの方による解説を得たりすることで、「まずやってみる」考え方の大切さを学び、積極的な考え方や行動を取ることに意欲を高めることができました。また、現地の高校生と直接コミュニケーションをすることで国を越えた友情が生まれ、高校生たちの視野を広げることができました。
- ・ 海外研修の予習をプログラムⅠとして行い、現地の学びどころと海外渡航の注意点を理解をした上で研修に挑んでいただき、期待感の向上と安全性を確保することに有効でした。また、青年会議所メンバーにおいては参加する高校生の人柄を知ることができ、成果報告時の高校生の成長を感じ取ることにつながりました。



発行

一般社団法人出雲青年会議所

事務局 〒693-0023

島根県出雲市塩冶有原町 1-44 JC センター

TEL 0853-22-3700 FAX 0853-22-3701

E-mail info@izumojc.com

HP <https://www.izumojc.com>

青少年委員会

副理事長 石橋 慎也

委員長 福田 佳典

副委員長 新井 冴香

委員 種平 広樹 松田 泰行

小川晃一郎 今岡 佑

平井 優香